

第5学年 算数科指導計画別葉（シートA） ※赤文字は付加修正した部分

学校教育目標	ふるさと〇〇に誇りを持ち、豊かな社会力を身に付けた子どもを育成する。
本年度の重点目標	問題解決を目指して考え、友だちと高め合う子どもの育成
教科共通重点目標	数学的表現を関連付けた対話活動の積み上げを通して、考えを高め合う子どもを育成する。

重点領域と特に重視して育成する資質・能力である思考力・判断力・表現力

昨年度の学力テストの課題克服を目的とした重点領域 〔Ⅰ 図形〕	教科等横断的な視点で組み立てた学習内容としての重点領域 〔Ⅱ 数量関係〕
○図形を構成する要素及びそれらの位置関係や図形間の関係などに着目し、図形の性質や図形の計量について考察する。	○数とその表現や計算の意味に着目し、発展的に考察して問題を見出すとともに、目的に応じて（多様な）表現方法を用いながら数の表し方や計算の仕方などを考察する。 ○伴って変わる二つの数量やそれらの関係に着目し、変化や対応の特徴を見出して二つの数量の関係を表や式、グラフなどを用いて考察する。 ○身の回りの事象から設定した問題について、目的に応じてデータを収集し、データの特徴や傾向に着目して適切な手法を選択して分析を行い、それらを用いて問題解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察したりする。

重点単元（図形1、数量関係2）

	Ⅱ 比例〔前期〕	Ⅰ 正多角形と円〔後期〕	Ⅱ 割合とグラフ〔後期〕
思考力・判断力・表現力の目標	伴って変わる二つの数量を見いだして、それらの関係に着目し、表や式を用いて変化や対応の特徴を考察し、表現することができる。	図形を構成する要素及び図形間の関係に着目し、構成の仕方を考察したり、図形の性質を見いだし、その性質を筋道立てて考え説明したりすることができる。	日常の事象における数量の関係に着目し、図や式を用いて、ある二つの数量の関係と別の二つの数量の関係との比べ方を考察し、表現することができる。
重点目標の達成に近づくための指導方法等の工夫	○考えの根拠となる部分を表や式に印づけながら考えを書かせ、比較しながら交流させる。 ○根拠を吟味しながら対話できるように、対話ポイントカードや算数言葉を用いて交流させる。 ○効率性の観点から発問し、ペアや全体で交流させる。	○既習内容と関連付けながら考えの根拠をはっきり書かせ、比較や批判をしながら交流させる。 ○根拠を吟味しながら対話できるように、対話ポイントカードや算数言葉を用いて交流させる。 ○一般性の観点から発問し、交流させる。	○既習内容と関連付けながら考えの根拠をはっきり書かせ、比較や批判をしながら分析し合う交流をさせる。 ○根拠を吟味しながら対話できるように、対話ポイントカードや算数言葉を用いて交流させる。 ○共通性・効率性の観点から発問し、交流させる。